

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2 単位 資格関連	TOEFL 対策	小林 俊哉	1 年次	秋

授業のキーワード	TOEFL 受験 実践練習
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	米国やカナダの大学留学などには必須の TOEFL。様々な形態の練習問題を解くことにより、スコアアップを目指します。また、英語総合基礎力の高いレベルでのアップも狙います。
履修のアドバイス・ 前提科目等	テスト形式（特に CBT-Computer Based Testing）の形式に習熟すると共に、リスニング、ストラクチャ、リーディング、ライティングの各形式の問題に数多くふれてください。テスト受験を考えていなくても、英語力アップのために受講をお勧めします。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	TOEFL の概要や形式について学びます。	第 9 講	リーディング	学術的な内容を持つ英文の講読練習をします。
第 2 講	リスニング	図を使う四択問題の練習をします。	第 10 講	リーディング	長文を読んだあと、四択問題の解答をするための練習をします。
第 3 講	リスニング	解答の選択肢から、正解を二つ選ぶ問題の練習をします。	第 11 講	リーディング	長文を読んだあと、語句選択に関連する練習をします。小試験を行います。
第 4 講	リスニング	複数の選択肢をそれぞれ適当な項目に当てはめる設問のうち、照合問題をおこないます。	第 12 講	ライティング	一定の長さを持つ英文ライティングの基本を学びます。
第 5 講	リスニング	4 講に引き続き、並べ替え問題をおこないます。小試験をおこないます。	第 13 講	ライティング	自分の見解を明示するライティングのスキルを学びます。
第 6 講	ストラクチャ	4 つの選択肢から解答を選ぶ、空欄補充問題の練習をします。	第 14 講	ライティング	序論、本論、結論という議論の組み立て方を学びます。
第 7 講	ストラクチャ	4 つの選択肢から解答を選ぶ、誤所選択問題をします。	第 15 講	試験	
第 8 講	ストラクチャ	空欄補充、誤所選択の問題を継続します。小試験を行います。	評価方法		小試験 40% 期末試験 60%
備考 (関連する資格・試験等)	TOEFL 試験は大学、大学院の一般的な入学基準から見た場合、大学学部入学で CBT スコア 213 点 (PBT スコア 550 点)、大学院入学で CBT スコア 280 点 (PBT スコア 650 点) 以上が安全圏といわれています。受講生の皆さんには、TOEFL スコアの平均点の (日本 2001~2002 年のデータ) CBT スコア 183 点、PBT スコア 505 点を目指してもらいます。				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		